

フィリピンから帰国後すぐ11月25日(水)にいつも行っている八尾市立竹瀬小学校で、「国際理解教育に係る講師派遣依頼があり、行って参ります。

今回は、今年7月にバヌアツ共和国タンナ島レナケル小学校との文化交流として行った「糸電話の交流とボランティアとサイクロンについて」の授業を行います。今回の授業にジャシユア君も参加して頂きます。

日本の小学校の教育現場を体験する良い機会だと思います。その後、生徒と一緒に給食を頂きます。

船場まつり第5回船場減災展シンポジウムにパネリストとして、行かせて頂きました。大阪市中央区長の挨拶で始まりました。

私は、船場RCが行っている「東日本大震災被害者自立支援事業」として「ITを活用したニットの編み手の生産活動向上プロジェクト」についての内容を話しました。

パネリストには、関西大学・社会安全学部・准教授とNPO危機管理対策機構事務局長、そして、御堂筋まちづくりネットワークの方が参加して、近畿で大災害発生時に大阪経済中心「船場本町」はどうか、取り組んで行けば良いか、活発な意見が出て、大変勉強になりました。

これからも、ロータリーの立場として、地域に対してどう、取り組んでサポートしていけば良いのかが、今後の課題であります。

親クラブの心齋橋RC45周年の式典に子クラブの大阪船場RCの代表として、行かせて頂きました。そこで感じ、感銘を受けた事をお話し致します。

それは、フィリピン共和国マカティオリンピアRCの会長バービー・リバデネイラ様の挨拶の事です。

彼女は小さい頃貧しい家庭に育ち教育もあまり受けられない環境でいましたが、心齋橋RCの奨学生として来日し、勉学に励み、帰国後努力の甲斐あって、貿易会社を設立し、立派に成功を収められ、自らマカティオリンピアRCを作り上げました。

今回、心齋橋RCと友好クラブの調印式を行うことができました。

そこで彼女は「心齋橋RCが私を育ててくれたことに感謝しています・・・」

そしていかに教育が大事であるかと言うことを、涙を流しながら語っていました。

これが、真のロータリー精神ではないでしょうか！「ロータリーが人を育てるということです」

さすがに、親クラブの心齋橋RCは品格と格式があり、凜とされています。

我が船場RCも親クラブの良いところを見習って行きたいと思い、大変参考になり、励みとなりました。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

①2015～2016年度の地区大会は、12月4日(金)、5日(土)の2日間、国際会議場で開催されます。

本日、参加登録いただいています会員に、2日目の名札をメールボックスに入れております。

当日は、会場入り口で名札のバーコードをチェックの上、入場していただきますので、お忘れなくご持参ください。

また、事前お申し込みの会員に、名札のケースにお弁当の引換券(ピンク色のカード)が入っています。

こちらも当日お忘れなくお持ちください。

4. 委員会報告 ◎親睦委員会 中村 一 委員長

12月14日のクリスマス家族懇親会・オークションの出品につきまして、11月30日が締切となっております。

クラブ活動の大切な財源となりますので、また、楽しくオークションができますよう、アイデアのある商品の出品にご協力下さいますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

5. 第16回米山奨学生ふれあいスピーチコンテストに出席して 米山奨学委員会 渡辺 忠之 委員長

ふれあいスピーチコンテストに出席して、奨学生のスピーチは、ロータリークラブでの交流や、カウンセラーの方々のロータリー精神に深く感謝しておられたこと。日本での留学の成果は人生の大きな力となること。

自国に帰って、かけ橋になりたい思いなど、手に手つないで、手のぬくもりを輪に広げる心を力強く発表されていました。米山奨学の意義が生かされているように大変感じました。

6. ニコニコ箱報告 井澤 武尚 親睦委員

沖 会員・・・本日は社会奉仕フォーラムです。大阪赤十字血液センターの森本様、池田様がお見えです。
皆さま宜しくお願いします。

杉浦 会員・・・小学校の同窓会で37名も集まりました。

小島 会員・・・大丸北館12階での仕事にもやっと慣れてきました。

松永 会員・・・クリスマスパーティー用の合唱団で子供様の出席の申込みをお願いします。大人の方で奥様の
出席をもう少し増えて頂ければと思います。楽譜を持って来ておりますのでお申出下さい。

伊藤、渡辺、松谷、清水、宮原、新川、藤野、斧原、井澤、今泉、小山、高階、片岡、大嶋、中村、甚田、北野、塩尻、
各会員・・・パリのテロで亡くなられた多くの方々に哀悼の意を表します。

7. 出席報告 藤野 英男 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 31名 出席率 84%
第1216回(10月26日) 修正出席率 100%

8. 社会奉仕フォーラム

◎「クラブ財政と社会奉仕活動について」 沖 真一郎 委員長



本年の社会奉仕フォーラムは11月16日例会終了後、1部大阪府赤十字血液センター推進課長
森本実様並びに係長池田超様による『献血について』と2部『財政から見た社会奉仕活動』を
テーマに話し合いました。ここでは2部の『財政から見た社会奉仕活動』について報告させて
頂きます。

前年まで行われていた「岩手のNPO遠野 山・里・暮らしネットワーク」を通じての東北への
支援活動も3年が経過し、一度立ち止まり支援の在り方を考えては、との意見がありました。

9月に社会奉仕委員会を開き話し合いました。「支援に値するものが有れば積極的に奉仕をすればよい」との結論でした。
ここ10年で会員数が50名から40名前後と減少している現状においてクラブ財政はどの様になっているかが気がかりです。
そこで、13年から15年の年度末のクラブの預金等の総計を調べますと、2年間で130万円減少していました。

では、支出の構成はどの様になっているのか。ここ4年間の平均で支出総額の内、例会・会合費・事務所費・委員会活動
等クラブ活動費が占めている比率は83%、寄付・支援金が17%前後でした。また、東北の震災直後には20%ほどあり
ました。この比率が多いか少ないかは次の議論としますが。

前年度の寄付・支援金の財源はどうでしょう。個人預り金からの拠出が49%、残り51%は例会でのにこにこ箱とX'mas
家族懇親会でのオークションで得た収入です。特記すべきは昨年です。昨年は854千円の収入で、一昨年より388千円
もの増額でした。東北から米や野菜を取り寄せての販売、会員の菜園でとれた野菜の販売等々と例年に無い企画あるい
は生活で消費できる商品の提供のおかげで多額の増額と成りました。

また、個人預り金からの献金は理事会等での決定での拠出であるのに対し、にこにこ箱やオークションは自主的に尊い
奉仕の精神による拠出、あるいは商品の提供ないし購入です。感謝・感謝・・・

何れにしても、このニコニコ箱、オークションの収入無くして奉仕活動は成りたないのは現実ではないでしょうか。
クラブの奉仕活動は会員の皆様かたの尊い奉仕の心で成りたっているものです。本年のX'mas家族懇親会でのオーク
ションをはじめ今後ともニコニコ箱等々のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 感謝

◎「献血について」 大阪府赤十字血液センター 献血推進一部 推進課長 森本 実 様



わが国では献血によって医療に必要な血液が用意されており、日本赤十字社が血液事業を
担っております。無償の善意による献血により賄われている国は日本だけです。
血液は、酸素を運ぶ、病原体とたたかう、出血を止めるといった生命の維持に欠かせない役割を
担っておりますが、人工的に造ることはできません。

輸血用血液には、有効期限があり、採血後の適切な温度管理により赤血球は21日間、血小板

4日間、血漿1年間以内に決められており、長期間保存ができません。

血液型については、日本では、A型4割、O型3割、B型2割、AB型1割の割合です。特に、RH(-)は、200人に1人の確率であり、AB型RH(-)の方の確率は、2,000人に1人となります。

世界の血液型の割合は、ヨーロッパでは、A型とO型で8割を占め、アジアでは、A型よりO型の割合が高いなど国や地域によって違いがあります。

献血にかかる時間は、全献血(400mL、200mL)は受付、採血前検査、採血、休憩まで30分から40分程度必要です。成分献血は60分から90分程度が必要となります。

献血をされる方に対して採血基準があり、年齢と体重が大きく関わっています。200mLでは、16歳から69歳まで。ただし、65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60歳から64歳の間に献血経験のある方に限ります。医療機関で95%以上の要望のある400mLについては、男性17歳から女性18歳からと基準が異なります。加えて、50kg以上の体重の条件も含まれます。

献血の歴史については、昭和31年ころは「売血」の時代でした。生活費の一部を賄うために赤血球の回復しないまま頻回に売血を行う方も現れ、その方の血液は、「黄色い血」と呼ばれ、酸素を運ぶ役割の赤血球がなく輸血に効果のない血液でした。また、売血後には、倒れる方も数多く、当時の桃山学院大学の生徒らによって「売血」を廃止する運動が起こり、現在の献血に繋がりました。彼らの行動が無ければ、「献血」の時代は、もっと遅くなっていたかもしれません。大阪府内の医療機関への輸血血液の供給数の推移については、平成17年に輸血用血液の適正使用にかかる通知が行われ減少しましたが、以降年々、血液の供給数は、右肩上がりになっています。

輸血を受けられる患者さんの疾病別においては「がん(悪性新生物)」や「血液および造血器」(全体の70%強)が多く、不慮の事故(3.8%)や妊娠分娩(0.7%)はたいへん少なくなっています。また、臓器移植においては、一人の患者さんに一晩100分以上の血液が必要となります。

献血者の推移については、平成3年から年々減少傾向にあります。ピーク時から比較すると約31%減少しています。血液事業において重点課題となっていることは、献血に協力してくれる若い人たちが減っていることです。10代20代の方に加え、近年では、30代の献血の協力者は著しく減少しています。

大阪府内で、献血パスは、16台保有しています。全国で1台あたりの献血者確保数は、平均で40.6人です。大阪府の1台あたりの献血者確保数は、37.1人と全国で35位と低い確保数となっています。

2660地区ロータリークラブ様の献血協力の推移については、平成19年がピークの5,052人でした。平成25年まで右肩下がりでしたが、昨年のIM7組様の「献血お誘いキャンペーン」のご協力を賜り、前年度を大きく上回るご協力を頂きました。今年度も献血協力をお願いさせていただく予定です。

少子高齢社会となり、献血においても将来の採血が決して楽観を許さない状況にあります。輸血用血液は社会的共有の特異な医療資源ともいえることから、病気やけがで血液を必要としている患者さんに血液を届けるため、今後ともみなさんに献血推進へのご理解とご支援をお願いいたします。【愛してるよ カズ】DVD 13分

☆12月例会予定☆

日	地区行事	司会	プログラム	歌	その他
7		藤野	卓話:北野会員 イニシエーション:長沼会員	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会6階「橘の間」13:40～
14	疾病予防と 治療月間	北野	次年度理事役員決定 クリスマス家族懇親会	「奉仕の理想」 (手に手つないで)	例会・総会:31F「カトレア」 17:00～17:50 懇親会:32F「スカイテラス」 18:00～21:30
21		北野	卓話:清水会員	「船場ソング」	